

平野 和

Yasushi Hirano (Bassbaritone)

平野和オフィシャル・ホームページ <http://www.yasushi-hirano.com>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

日本大学芸術学部音楽学科同大学を首席で卒業、卒業時に学部長賞受賞。2000年オーストリア・ウィーン国立音楽大学声楽科へ入学、2003年同大学声楽科修了後、2007年同大学大学院オペラ科を首席で卒業。末芳枝、R. ハンスマン、R. ホルの各氏に師事。

オペラではバロックから現代にいたるまで広範囲をレパートリーとし、ウィーン国立音大在学中より数々のオペラに出演。2004年ドイツ・ラインスベルク室内歌劇場国際コンクールで入賞、同オペラ主催の夏の音楽祭で世界的演出家ハリー・クプファー演出のヘンデル作曲「オットーネ」エミレーノ役に抜擢される。また、2006年夏にはザルツブルク音楽祭、ブレゲンツ音楽祭にソリストとして相次いで出演。

コンサート歌手としてもバッハ、モーツァルト、シューベルトなどのミサ曲・カンタータ・オラトリオのソリストを数多く務め、ウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニーなど主要なホールに客演。

2007/08 シーズンよりオーストリア・グラーツ歌劇場と専属歌手として契約。2007年10月の「魔弾の射手」の隠者としてセンセーショナルなデビューを飾る。

2008/09 シーズンからは、ウィーン・フォルクスオーパーと専属歌手として契約。2012年の新演出版「フィガロの結婚」タイトルロールをはじめ、在籍10シーズンで約350公演に出演。

2008年、2011年には Styriarte 音楽祭で故 N. アーノンクールと共演、2012年に出演したヴェルディの歌劇「アルツィーラ」(G. クーン指揮・演奏会形式)が映像化され、その模様がヴェルディ生誕200周年の2013年、世界中にて放映される。

2017/18 シーズンは、フォルクスオーパーの新制作版、ベルリオーズ作曲「ロメオとジュリエット」のロレンス神父、再演版「ルサルカ」の水の精、ブレゲンツ音楽祭の湖上オペラ「カルメン」のスニガ、ウィーン楽友協会大ホールでの「ドイツ・レクイエム」のソリストとして出演。日本国内では新国立劇場の「影のない女」(冥界の使者)、「ドン・ジョヴァンニ」(レポレッコ)、「アイダ」(エジプト王)に出演。2018年6月にサントリーホールにて開催されたロシア年&ロシア文化フェスティバルのオープニング公演“ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団「イオランタ」”にルネ王として出演。高く評価された。また、2019年1月にはシュトラウス・フェスティバル・オーケストラのソリストとして日本ツアーを行った。今、最も活躍が注目される若手バス・バリトンのひとりである。

オフィシャル・ホームページ <http://www.yasushi-hirano.com>

(2019年4月現在 1009文字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

平野 和

Yasushi Hirano (Bassbaritone)

日本大学芸術学部ならびにウィーン国立音楽大学修士課程を首席で修了。末芳枝、R. ハンスマン、R. ホルの各氏に師事。2003年オーストリア共和国奨学生。

オペラではバロックから現代にいたるまで広範囲をレパートリーとし、ウィーン国立音大在学中より数々のオペラに出演。コンサート歌手としてもバッハ、モーツァルト、シューベルトなどのミサ曲・カンタータ・オラトリオなどのソリストとして、ザルツブルク祝祭劇場やウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニーなど主要なホールに客演し、N. アーノンクールなど数々の著名な指揮者と共演。リート歌手としてもオーストリアを始めとするヨーロッパ各地や日本など幅広いコンサート活動を展開している。

2008/09 シーズンからは、ウィーン・フォルクスオーパーと専属歌手として契約。2012年の新演出版「フィガロの結婚」タイトルロールをはじめ、在籍10シーズンで約350公演に出演。2017/18シーズンは、フォルクスオーパーの新制作版、ベルリオーズ作曲「ロメオとジュリエット」、再演版「ルサルカ」の水の精、ブレゲンツ音楽祭の湖上オペラ「カルメン」のスニガ、ウィーン楽友協会大ホールでの「ドイツ・レクイエム」のソリストとして出演。

日本国内では新国立劇場の「ドン・ジョヴァンニ」（レポレッコ）、「アイダ」（エジプト王）などで出演。2019年1月にはシュトラウス・フェスティバル・オーケストラのソリストとして日本ツアーを行なった。

今、最も活躍が注目される若手バス・バリトンのひとりである。

オフィシャル・ホームページ <http://www.yasushi-hirano.com>

(2019年4月現在 636文字)

平野 和

Yasushi Hirano (Bassbaritone)

日本大学芸術学部、ならびにウィーン国立音楽大学修士課程を首席で修了。末芳枝、R. ハンスマン、R. ホルの各氏に師事。2008年よりウィーン・フォルクスオーパーと専属歌手として契約。2012年の新演出版「フィガロの結婚」タイトルロールをはじめ、在籍10シーズンで約350公演に出演。ザルツブルク祝祭劇場やウィーン楽友協会、ベルリン・フィルハーモニーなど主要なホールに客演し、N. アーノンクールなど数々の著名な指揮者の下ソリストを務める。2017/18シーズンは、フォルクスオーパーの再演版「ルサルカ」の水の精、ブレゲンツ音楽祭「カルメン」のスニガ、ウィーン楽友協会での「ドイツ・レクイエム」のソリストとして出演。日本では新国立劇場において「ドン・ジョヴァンニ」のレポレッコ、「アイダ」のエジプト王などで客演。2019年1月にはシュトラウス・フェスティバル・オーケストラのソリストとして日本ツアーを行ない好評を博した。

オフィシャル・ホームページ <http://www.yasushi-hirano.com>

(2019年4月現在 399文字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

Yasushi Hirano (Bassbaritone)

Japanese bassbaritone Yasushi Hirano studied at the Vienna University for Music and Arts, and with Rotraud Hansmann and Robert Holl, amongst others.

His first engagements took him to the German “Kammeroper Schloss Rheinsberg” and to the Salzburg Festival for the world premiere of Henze’s “The Betrayed Sea” in 2006.

During the 2007/08 season he was engaged as an ensemble member at Graz Opera; in 2008/09 the Vienna “Volksoper” became his new home base.

There, he sings a broad repertoire of operas by Mozart, Beethoven, Verdi, Puccini, Rossini and Borodin. For several years he has appeared as a guest at the NNT Tokyo.

Also, he performs regularly at Austrian festivals including “styriarte” Graz, where he sang in two opera productions conducted by Nikolaus Harnoncourt, at the Bregenz Festival

and at another popular open-air festival at the medieval castle Burg Gars. Apart from opera, Yasushi Hirano likes to sing religious music by Bach, Brahms, Beethoven and Haydn.

Such concerts have taken him to Italy, the Netherlands, Serbia, the Czech Republic, Russia, Japan and Germany. In addition, he is much sought-after recitalist.

Often, his programs are dedicated to songs by Schubert, Schumann and Mahler and accompanied by his wife, Sayuri Hirano.

In 2017/18 season, sang Père Laurence of Volksoper Vienna’s new production of “Roméo et Juliette” composed by Berlioz, and Water Sprite of the repeat performances of “Rusalka”, Zuniga of “Carmen” on the lake stage of the Bregenz Festival, and as a soloist of “German Requiem” at golden hall of Musikverein Vienna.

In June 2018, he sang King René of “Iolanta” in the opening concert of the Russian Year and the Russian Culture Festival in Japan at Suntory Hall, Tokyo, performed by the Russian National Orchestra under the baton of Mikhail Pletnev

(April 2019)

2019/20 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.